

空き家バンクのご紹介

空き家を有効活用することで、地域の活性化を図り、良好な住環境を維持するため、空き家の所有者と空き家を必要とする人をつなぐ「大磯町空き家バンク」を運用します。

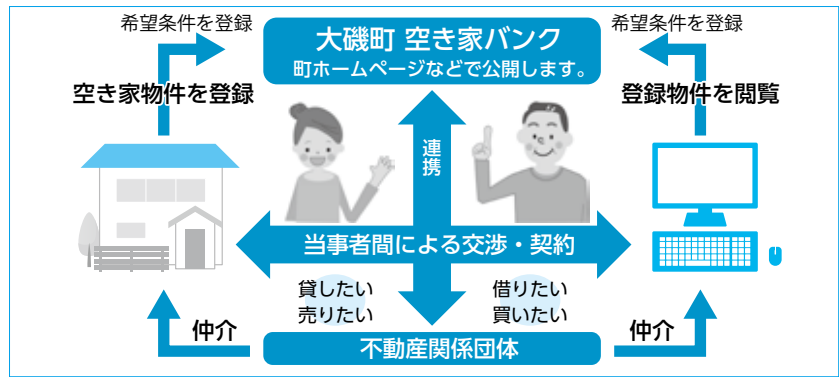
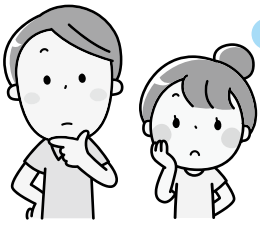
▼登録できる「貸したい・売りたい」空き家の要件

- ① 町内に所有する空き家とその敷地
- ② 一戸建住宅（集合住宅の一室、戸建住宅の一部屋などは対象外です。）
- ③ 所有者本人が登録を希望していることなど

▼ご希望の「借りたい・買いたい」要件を登録

住居や仕事場として、探している空き家の大きさや希望価格を伺います。

こんな空き家があれば
利用したい・・・



▼情報の公表について

登録いただいた情報は、個人情報を除き町ホームページなどで公表します。物件売買・賃貸借に関する交渉、契約等に関しては、町が協定する不動産団体に依頼することができ、詳細は、町ホームページでご確認ください。

問 都市計画課 ☎内線 242

ふるさと納税を
活用した

「空き家・空き地見回りサービス」始めました！



家は、空き家になると急速に傷みが進みます。定期的に家の状況を確認し、適切なタイミングでメンテナンスを行うことが大切です。遠方に引越したり、仕事の都合などで空き家の状態を確認することが大変な場合には、代行をお願いしてはどうでしょうか。

今回、ふるさと納税の返礼品に新たに町シルバー人材センターの「空き家・空き地見回りサービス」が追加されました。屋根や外壁・郵便受け等の点検や庭木の繁茂状況を写真付きの報告書で確認できます。

まずは、町シルバー人材センターに「ふるさと納税で空き家・空き地見回りサービスを使いたい」と相談してください。状況によっては、対応できないこともありますので、事前にご確認ください。

問 町シルバー人材センター

☎(70) 6241
ふるさと納税について
財政課 ☎内線 219
空き家に関することについて
都市計画課 ☎内線 242

GO TO 東京オリ・パラ 2020 Vol.24

ミャンマーって どんな国？ ～食文化編～

ミャンマーの主食はお米です。日本と同様に白米を食べますが、最もよく食べられているのはインディカ米です。

お米に合わせていただくおかずは「ヒン」と呼ばれ、たまねぎ等をベースに、肉類や魚介類、野菜を煮込んだものが多いです。多量の油を使うのが特徴で、スパイスの量は少なく、辛みは強くありません。

お米のほかに好まれるのが、麺類です。麺類は特に朝食で食べることが多く、代表的なのは、ナマズのスープに米粉の麺が入った「モヒンガー」です。早朝から、至るところで売られています。昼食や夕食は、数品のヒンとお米を一緒にいただくのがミャンマーの一般的な食事です。

また、豆類もよく用いられ、様々なヒンに使用されます。豆のほかに、発酵させた茶葉を食材として使用し、シロップをかけてお菓子としても食されています。インドやタイ、ベトナムなどとも似ているようで違う食文化。ぜひ、一度体験してみてください。

※大磯町食生活改善推進団体の協力を得て開発した再現レシピは、町ホームページに掲載しています。



ミャンマーのチキン煮込み
「チエッターヒン」

問 政策課 ☎内線 229